

富津市障害者総合支援協議会

《 令和 2 年度 部会等の活動報告 》

《 令和 3 年度 部会等の活動方針 》

《 目 次 》

- I. 就労支援部会 P 1 ~ 2
- II. 地域生活支援部会 P 3 ~ 4
- III. 子ども部会 P 5 ~ 6
- IV. 権利擁護部会 P 7 ~ 8
- V. 障がい者差別解消会議 P 9
- VI. 広報会議 P 1 0
- VII. 一部事務局委託 P 1 1
- VIII. 令和 2 年度決算 P 1 2
- IX. 令和 3 年度予算 P 1 2

I. 就労支援部会

1. 令和2年度 部会全体の活動報告

就労支援部会では、富津市内に居住する障がい者の就職や実習などがスムーズにできるよう、その基盤整備をしていくことが役割と考え、障がい者と企業それぞれのニーズや課題解消に繋がる活動を行っている。

活動日時	場 所	内 容
10月2日（金）	富津市役所 大会議室	第1回就労支援部会
12月7日（月）	富津市役所 大会議室	第2回就労支援部会

① 優先調達パンフレットの内容更新

概 要：市内就労支援事業所等が提供できる物品や役務を掲載し、就労支援事業所等への発注を拡大することを目指す。

運営方針：市内各事業所の販売促進、障がいについての理解を深める。

評 価：市内就労支援事業所に対し、原稿作成依頼を経て、内容を更新した。内、1事業所（あおいそら）については、今回の製作で新たに掲載されることとなった。

② 障害者就労施設物産展

概 要：市内各事業所の生産物を定期的に販売する機会を設けることで、販売促進と障害者優先調達推進法の周知を図る。

運営方針：毎月第2・4木曜日に実施。

評 価：今年度は市内5事業所が参加。緊急事態宣言の期間中等、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できない事もあった。市役所で確定申告を行っている期間に合わせて実施する予定もあったが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

2. 令和3年度の活動方針

障害者就労施設物産展については、月2回（第2・4木曜日）開催予定だが、市の施設貸出しの都合により中止となる可能性もある。また、優先調達法の周知については、優先調達パンフレットの活用を含め、部会の中で検討していきたい。

令和元年度に企画していた「障害年金制度説明会」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったが、企業が障がいをもった方の

雇用を検討する上で有益な情報を提供するために実施する予定であったため、開催の時期や方法について検討していく。

Ⅱ. 地域生活支援部会

1. 令和2年度 部会全体の活動報告

地域生活支援部会は、「障がいのある人が普通に暮らせる地域づくり」を目指し、連絡・調整・研究・広報等を行っている。

障がいのある人、地域の人、福祉事業所の人、行政の人などいろいろな方が参加して構成しており、この部会構成を活かして各方面と連携している。

概要：防災等について、地域の状況やニーズの情報収集に努め、その活動の中で、地域生活支援拠点における地域の体制づくりの一端を担っていく。

運営方針：障がいのある人や家族等が、不便なく暮らせる地域を作るため、関係機関とのネットワーク構築や、地域生活を送る上でのサポートに繋がるような事項を模索していく。

活動日時	場所	内容
令和2年9月9日(水)	富津市役所 2F相談室	第1回地域生活支援部会事前打合せ
令和2年10月2日(水)	富津市役所 大会議室	第1回地域生活支援部会開催 ・令和元年度の活動報告について ・令和2年度の活動方針について
令和2年10月20日(火)	富津市役所 2F相談室	民生委員、社会福祉協議会との意見交換会 のための事前打合せ
令和2年11月24日(金)	富津市役所 201会議室	民生委員、社会福祉協議会との意見交換会
令和3年1月25日(月)	富津市役所 2F相談室	令和2年度の経過報告及び令和3年度の活動内容に係る打合せ

評価：新型コロナウイルス感染症の影響により部会全体としての活動が制限されたなかで実施した「民生委員、社会福祉協議会との意見交換会」において、災害時における地域の見守り体制の強化に焦点が当てられ、そのための課題の発掘と防災意識を深めることができた。

2. 令和3年度の活動方針

安心して地域で暮らせるための体制づくりのため、地域生活支援部会として、障害のある方及びご家族等が安心して地域で暮らせるためのサポートに繋がるような事項を模索していく。そのために関係機関及び地域の支援者とのネットワークの構築、災害に対応するための課題の整理、地域の見守り体制の強化について検討していく。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが不透明であることから、感染拡大防止を考慮した方法で活動していきたいと考えている。

Ⅲ. 子ども部会

1. 令和2年度 部会全体の活動報告

子ども部会は、保護者、当事者団体、保育所（園）、幼稚園、教育機関など多様な機関で構成され、「障がい児支援に関する事項の調査審議」に係る事務を所掌しており、併せて保護者や支援者支援のための活動を行っている。

活動日時	場所	部会活動内容
7月28日（火）	富津市役所 大会議室	第1回子ども部会
9月15日（火）	富津市役所 大会議室	スキルアップ講座準備

①スキルアップ講座

概要：障がいのある子どもに関わる支援者の支援を目的に活動を行う。

運営方針：乳幼児・学童期・児童施設など、子どもに関わる専門職員のスキルアップ講座を企画する。

評価：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

②子育て交流会

概要：障がいのある子どもの保護者やその家族を支援することを目的に活動を行う。

運営方針：障がいのある子どもの保護者やその家族の日頃の悩み（支援方法なども含む）について、指導者、支援者、先輩保護者たちと一緒に、解決方法の糸口を見つけることを目的に定期的（毎月第2火曜日の10時～12時）に富津市役所内会議室で交流会を実施。また、保護者等が支援情報を得るため、行政サービスや事業所等の紹介を実施する。

活動日時	場所	内容	参加者数
10月13日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	18人
11月10日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	9人
12月8日（火）	富津市役所 401会議室	社会福祉法人薄光会 ほうきぼし 療育アドバイザー 植田照美氏によるQ&A	15人

評価：幼児から学童期、成長期、成人した子を持つ保護者が参加者し、様々な意見交換を行った。

保護者同士同じ悩みを持った親として、心が安らぎ新たな力を得る時間を確保することが出来ている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3回しか開催することができなかった。参加者からは、定期開催の声があがっているものの、このコロナ禍の中で対面での交流会開催には難しさもある。開催方法の検討が必要である。

2. 令和3年度の活動方針

- ① 令和3年12月頃にスキルアップ講座を開催予定。
- ② 毎月第2火曜日10時～12時の子育て交流会は、新型コロナウイルスの感染拡大状況等をみながら、適宜開催していく。
当面は、これまで参加のあった方を中心に交流会開催のお知らせをする。
(密を避けるために、参加人数をなるべく増やさない)
- ③ これまでの形の交流会は継続しながら、コロナ禍における開催方法を検討していく。

IV. 権利擁護部会

1. 令和2年度 部会全体の活動報告

権利擁護部会では、「障がいがあってもなくても暮らしやすいまちづくり」を目標に、部会員を「研修班」と「調査研究班」という2つのワーキンググループに分けて活動を行っている。

活動日時	場 所	内 容
7月31日（金）	富津市役所 502 会議室	第1回権利擁護部会 ・部会長及び副部会長の選出について ・令和元年度活動報告及び令和2年度活動方針について

2. 令和2年度 各ワーキンググループの活動報告

①研修班

概 要：「あったかふつつエンジョイトーク 2020」と題し、権利擁護に関する勉強会を開催するとともに、次年度の勉強会の計画を作成する。

運営方針：地域の支援者・関係者間等において、課題を共有しながら交流・研究し、地域支援のネットワーク作りを目的とする。

活動日時	場 所	内 容
9月11日（金）	富津市役所 202 会議室	新型コロナウイルスの影響による勉強会の中止について 令和2年度活動内容について
12月3日（木）	富津市役所 1階喫茶室	過去の研修会等のDVDを放映

評 価：あったかふつつエンジョイトーク 2020 にて予定していた勉強会（8月：虐待関係、11月：差別解消法、2月：成年後見制度）は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止としたため、富津市役所内で過去の研修会等のDVDを放映、権利擁護に関する周知、啓発活動を実施した。

②調査研究班

概 要：福祉教育推進プログラム「こころの病気を知ろう」の周知活動として、以前から作成について協議してきたDVDを完成させる。

活動方針：当事者単独でエピソードを話すだけでは大変のため、施設職員等によるインタビュー形式でのDVD作成を目指す。

(1) 調査研究班会議

日 程	会 場	内 容
9月11日(金)	富津市役所 202会議室	作成予定のDVDのシナリオの確認について 機材や撮影方法の調整について

評 価：以前から計画を進めていた、福祉教育プログラムの中の「こころの病気を知ろう」に焦点を当てた、中学生を対象に考えたDVDの作成について、撮影が終了し、完成した。

3. 令和3年度の活動方針

「障がいがあってもなくても暮らしやすいまちづくり」を目標に活動する。
引き続き部会員を「研修班」と「調査研究班」という2つのワーキンググループに分けて活動を行うが、班にとらわれることなく、相互に協同して活動する。

① 研修班

- ・第1回権利擁護部会会議と同日に、完成したDVDを部会員で視聴する。
- ・コロナ禍で中止となった令和2年度の勉強会を令和3年度に繰越して実施する。
- ・勉強会のテーマは<8月頃：虐待関係>、<11～12月頃：差別解消法>、<2月頃：成年後見制度>とする。

② 調査研究班

- ・第1回権利擁護部会会議と同日に、完成したDVDを部会員で視聴する。
- ・今後の活動について検討する。
(障害者週間でのイベント実施、周知活動をしている団体の調査・研究、法人後見機関との連携、「障がい者の理解」についてのアンケート調査)

V. 障がい者差別解消会議

1. 令和2年度の活動報告

概要：福祉関係者だけでなく、市民全体へ障がいへの差別解消についての理解促進を行う。

活動方針：広報誌での啓蒙活動や各部会の活動と連携した勉強会を行う。

評価：実際の相談に基づく会議の開催はなかったため、広報誌による啓蒙活動などを中心に行った。各部会の活動と連携した勉強会等については、新型コロナウイルス感染症防止のため、活動を自粛した。

2. 令和3年度の活動方針

- 障害者差別解消法に基づく相談があった場合には、随時会議を開催する。
- 各部会と連携を取り、福祉関係者だけでなく、企業をはじめ、広く一般での理解の促進のための情報発信を行う。
- 「広報ふつつ」への掲載により障害者差別解消法の周知を行う。

VI. 広報会議

1. 令和2年度の活動報告

概要：広報誌「もごっち」の発行など、各部会の広報活動を包括的に担う。会議の委員については、各部会から2人ずつ、各部会と兼務している。

運営方針：障害者総合支援協議会や各部会の広報啓発を目的に、協議会主催による小中学生を対象としたポスターコンクールと啓発物品（ポケットティッシュ等）の企画を担当する。また、富津ユニバーサルフェスタ等のイベントでの周知活動を実施、及び広報誌「もごっち」を発行する。市内学校への福祉教育プログラムの啓発、実施を行う。

評価：新型コロナウイルス感染症防止対策のため、各種活動を中止した。「もごっち」については、広報会議のメンバーで協議し、第16号を令和3年3月に発行し、市内へ全戸配布した。

2. 令和3年度の活動方針

- 障がいテーマにしたポスターの作成依頼、及びそれに伴う広報活動を再開する。
- 広報誌「もごっち」を継続的に発行する
- 調査研究班が作成した「福祉教育プログラム」を活用し、学校への情報提供を行い、学校の福祉教育に関する相談窓口を担当していく。
- 随時各部会のニーズを汲み取り、対応していく。

Ⅶ. 富津市障害者総合支援協議会一部事務委託-----

1. 令和2年度 連絡調整会議の運営状況

概要：協議会全体の運営を円滑に行うための連絡調整機能を有しており、各部会の情報交換と連携、運営の方向性を確認する。

活動日時	場所	内容
10月22日（木）	富津市役所 404会議室	・今年度の協議会の活動方針について ・今年度の各部会の活動方針について ・その他

評価：新型コロナウイルス感染症防止のため、十分な活動ができなかったが、連絡調整会議で各部会の活動状況や今後の活動について、相互に確認し、指摘し合うことで、部会自体の活動の幅を広げ、連携することはできた。

2. 令和3年度の活動方針

○連絡調整会議の継続

新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、連絡調整会議を開催、各部会の活動状況や運営方針の確認を行う。

○相談支援関係事業所連絡会の継続

質の高い相談支援体制を目指し、指定特定相談支援事業所、行政の実務者を中心に、横の連携を強化するため、体制整備や困難事例の共有、事例検討、新規事業所の見学、障害福祉サービスに関する情報共有等を継続して実施していく。

VIII. 令和2年度 総合支援協議会運営委託料 決算-----

項目	金額	内容
研修費[a]	5,000円	
就労支援部会	0円	
地域生活支援部会	0円	
子ども部会	5,000円	講師報償費
権利擁護部会	0円	
障がい者差別解消会議	0円	
全体研修費	0円	
印刷製本費[b]	115,550円	
広報誌用	115,550円	協議会
啓発用ティッシュ用	0円	
消耗品[c]	27,556円	
理解啓発用品他	27,556円	協議会・広報会議
ポスター応募者記念品代	0円	
通信運搬費[d]	0円	
説明会等郵送料	0円	
合計（[a]+[b]+[c]+[d]）	148,106円	

IX. 令和3年度 総合支援協議会運営委託料 予算-----

項目	金額	内容
研修費[a]	134,000円	
就労支援部会	10,000円	講師報償費
地域生活支援部会	10,000円	講師報償費
子ども部会	30,000円	講師報償費
権利擁護部会	50,000円	講師報償費
障がい者差別解消会議	10,000円	講師報償費
全体研修費	24,000円	各部会6,000円×4部会
印刷製本費[b]	106,000円	
広報誌用	91,000円	協議会
啓発用ティッシュ用	15,000円	広報会議
消耗品[c]	28,000円	
理解啓発用品他	8,000円	協議会・広報会議
ポスター応募者記念品代	20,000円	広報会議
通信運搬費[d]	10,000円	
説明会等郵送料	10,000円	就労支援部会
合計（[a]+[b]+[c]+[d]）	278,000円	